



アイモビーグ投与の際の患者さんとの コミュニケーションのポイント

片頭痛で長年つらい思いをされてこられた患者さんは、新しい注射による治療に大きな期待と、そして不安をもっておられます。限られた診察時間の中で医師に話せないことや、言い出せずにいることを抱えているかもしれません。

このような患者さんの不安や疑問を効果的に引き出すため、アイモビーグ投与の時間をコミュニケーションの機会として活用してはいかがでしょうか。

患者さんが抱えている不安や疑問点、アイモビーグ投与時に特にご確認いただきたい内容について、患者さんへの質問の形式で以下にご紹介します。また、患者さんに質問する際のポイントや、想定される患者さんの回答例と対処法をお示した冊子もご用意していますので、あわせてお役立てください。

初回投与時

- アイモビーグによる治療について、気になっていることはありませんか？
- 過去に注射をして気分が悪くなったことなどはありますか？
- しびれや痛みはありませんか？ 気分は悪くないですか？

2回目の投与時

- 前回の投与を受けてから1か月经ちました。この間、片頭痛の頻度と程度はいかがでしたか？
- 前回の投与を受けてから、治療について新たに不安や疑問に思ったことはありませんか？
- 前回の投与の後、痛み、かゆみ、赤み、腫れ、しこりはありませんでしたか？
- 前回の投与の後、過敏症、便秘、眠気などの体調の変化はありませんでしたか？

3回目以降の投与時

- アイモビーグによる治療を始めてから、片頭痛の頻度と程度はいかがですか？
- アイモビーグによる治療を始める前に経験された頭痛による生活上の支障などは現在いかがですか？
- 治療の効果や今後の投与継続について、ご質問やご不明な点がありますか？
- そのほかにご質問やご不明な点など、先生に聞きたいことはありませんか？
- これまでに投与した箇所、痛み、かゆみ、赤み、腫れ、しこりはありませんでしたか？
- これまでの投与で、過敏症、便秘、眠気などの体調の変化は起きていませんか？

患者さんとの会話の中で気になることがあった場合は、
すぐに医師に伝えてください。

製造販売 **アムジェン株式会社**
東京都港区赤坂九丁目7番1号

[文献請求先及び問い合わせ先] メディカルインフォメーションセンター 0120-790-549

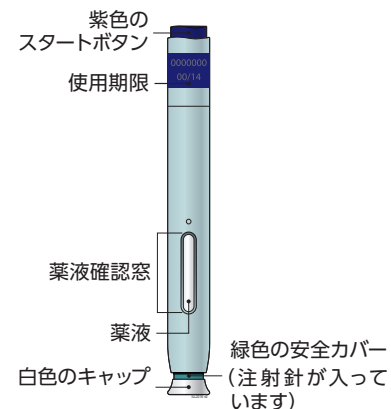
ERN210011MH4
2023年12月作成

アイモビーグ[®]皮下注70mg ペンの投与方法

監修：品川ストリングスクリニック 院長 山王 直子 先生

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」、「用法及び用量に関連する注意」については、電子化された製品添付文書をご参照ください。

各部の名称



保管方法

- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 外箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管してください。
- 温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。
- 凍結させないでください。

使用時の注意

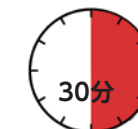
- 外箱に表示した使用期限を過ぎている場合は、**使用しないでください。**
- **振らないでください。**
- 注射の準備ができるまで白色のキャップを**外さないでください。**
- **凍結させないでください。**凍結させてしまった場合は、使用しないでください。
- 硬いところに落とした場合は**使用しないでください。**ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しいオートインジェクターを使用してください。
- オートインジェクターにはラテックス由来の天然ゴムを使用していません。

ステップ1 ▶ 注射の前に

1 オートインジェクターの外箱を 冷蔵庫から取り出し、30分以上待ちます。

- 外箱のまま30分以上かけてオートインジェクターを室温に戻します。

- ⊗ **注意：**● 薬液を全量投与するため、注射部位の不快感を最小限にするために重要です。
- 室温に戻さないで投与すると、注射に時間がかかることがあります。
- 温めないで、室温に放置してください。

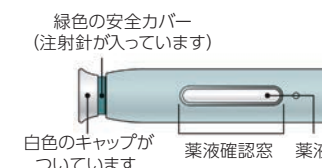


- 外箱を開けてオートインジェクターをそっと静かにまっすぐ持ち上げ、外箱から取り出します。

- ⊗ **注意：**● 一度室温に戻したオートインジェクターは**再び冷蔵庫に戻さないでください。**
- お湯や電子レンジなどの熱源を使って**温めないでください。**
- 直射日光の当たるところに**放置しないでください。**
- オートインジェクターを**振らないでください。**
- 白色のキャップはまだ**外さないでください。**

2 オートインジェクターを点検します。

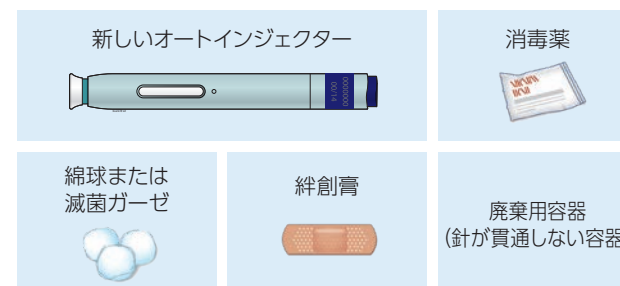
薬液確認窓の中の薬液が透明で、無色またはわずかに黄色であることを確認してください。



- ⊗ 次の場合は新しいオートインジェクターを使用してください。
- 薬液が濁っている、変色している、あるいは塊や粒子が入っている。
- ひびが入っている、割れているところがある。
- オートインジェクターを落とした。
- 白色のキャップがついていないか、しっかりと取りつけられていない。
- 使用期限を過ぎている。

3 注射に必要なものを用意します。

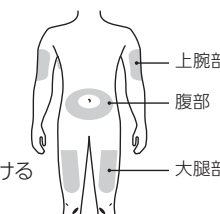
手を石鹸でよく洗います。
清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます。



4 注射する部位を決めて 消毒します。

次の部位に注射できます。

- 大腿部
- 腹部、ただしへそのまわり5cm以内は避ける
- 上腕部の外側



注射する部位を消毒して、皮膚を乾かします。

- ⊗ **注意：**● 注射するまで消毒した部位に再び**触れないでください。**
- 皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結している部位に**注射しないでください。**
- 傷跡や妊娠線のあるところに**注射しないでください。**
- 皮膚が盛り上がっている部位や厚くなっている部位、赤くなっている部位、またはうろこ状になった部位に**注射しないでください。**

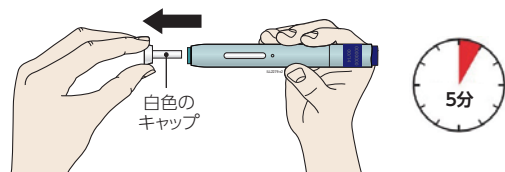
AMGEN

片頭痛*
コントロール

*アイモビーグの効能又は効果:片頭痛発作の発症抑制

ステップ2 ▶ 準備をする

- 1** 注射の準備ができたなら、白色のキャップをまっすぐに引き抜きます。白色のキャップを外したら5分以内に注射してください。針内の薬液が乾き注射できないことがあります。

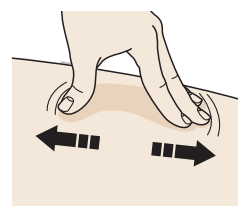


白色のキャップを引き抜いた際、注射針や緑色の安全カバーの先端に液滴がついていても問題ありません。

- ⊖ 注意：● 白色のキャップをねじったり、曲げたりしないでください。
● 一度外したキャップは元に戻さないでください。
● 緑色の安全カバーに指を入れしないでください。
● 注射の準備ができるまで白色のキャップを外さないでください。

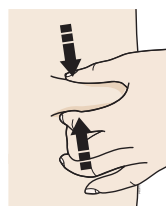
- 2** 注射する部位(大腿部、腹部、上腕部の外側)を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。

引き伸ばす方法



または

つまむ方法



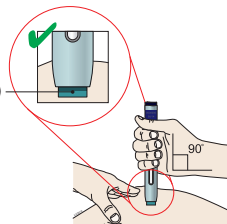
親指とほかの指を逆方向に動かして皮膚をしっかり伸ばし、5cmくらいの幅を作ります。

重要：注射中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにしてください。

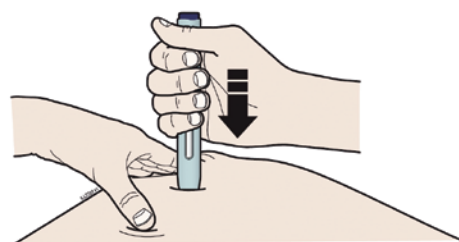
ステップ3 ▶ 注射する

- 1** 皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだままにします。白色のキャップが外れた状態で緑色の安全カバーを皮膚に直角にあてます。緑色の安全カバーの中に注射針が入っています。まだ紫色のスタートボタンには触れないでください。

緑色の安全カバー
(注射針が入っています)

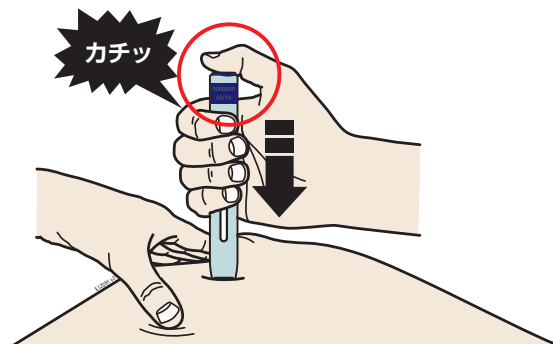


- 2** オートインジェクターが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押しこみます。

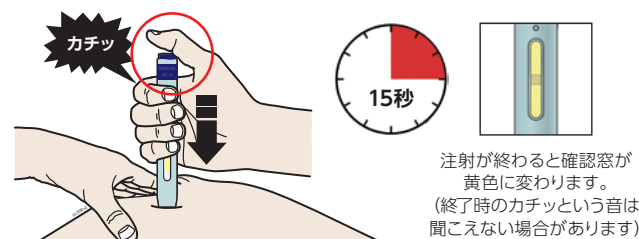


重要：できるだけ下へ押しこみます。注射の準備ができるまで紫色のスタートボタンには触れないでください。

- 3** 注射の準備ができたなら、紫色のスタートボタンを押します。「カチッ」という音がします。



- 4** 皮膚に押しあてたまま、親指を離します。注射時間は、約15秒です。



- ⊖ 注意：「カチッ」という音が聞こえない場合もありますが、これは機器の不具合ではありません。薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了したことを確認できます。

⊖ 注意：オートインジェクターを皮膚から離すと、注射針は自動的に緑色の安全カバーで覆われます。

重要：薬液確認窓の色が黄色に変わらない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が注射できていない可能性があります。

ステップ4 ▶ 終了

- 1** 使用済みのオートインジェクターと白色のキャップを捨てます。

使用済みのオートインジェクターと白色のキャップは、使用後すぐに廃棄用容器に捨てます。

- ⊖ 注意：● オートインジェクターを再使用しないでください。
● オートインジェクターや廃棄用容器を再使用したり、一般廃棄物として捨てたりしないでください。

- 2** 注射した部位を確認します。

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼでおさえて、止血してください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。注射した部位をもんだりこすったりしないでください。

よくある質問

- Q** 注射部位に押しあてる前に紫色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？

紫色のスタートボタンを押しても、緑色の安全カバーがオートインジェクターに押しこまなければ、注射は始まりません。紫色のスタートボタンから指を離して、やり直してください。

- Q** 注射する部位を決めるときに皮膚の上でオートインジェクターを動かしてもよいですか？

紫色のスタートボタンを押さなければ、注射する部位のまわりでオートインジェクターを動かしても問題ありません。ただし、オートインジェクターが皮膚に押しこまれ、紫色のスタートボタンを押すと、注射が始まります。

- Q** 注射を始めた後で紫色のスタートボタンを離してもよいですか？

スタートボタンを離しても問題ありません。ただし、注射中はオートインジェクターをしっかりと皮膚にあてたままにしてください。

- Q** 親指を離すと紫色のスタートボタンは出てきますか？

注射中に親指で押していた場合は、親指を離しても紫色のスタートボタンが出てこないことがありますが、問題ありません。

- Q** オートインジェクターを15秒間皮膚に押しあてても2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？

注射終了時に2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合でも、薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了したことを確認できます。

- Q** オートインジェクターや注射について質問がある場合にはどこに問い合わせればよいですか？

お問い合わせ先 アムジェン株式会社 メディカルインフォメーションセンター
TEL：0120-952-206 (患者さん、一般の方向け)
受付時間：平日9:00-17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)